

小島地区ふれあいセンターだより



令和7年4月 第418号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703



4月の行事予定

※毎週月曜日は休所日です。

開催日	行事名
1日(火)	小島地区ふれあいセンター運営委員会 午前10時～11時
2日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業) 午前10時～12時
4日(金)	子育て教室 午前10時～11時30分
8日(火)	小島中学校区青少年育成協議会
11日(金)	小島愛宕地区老人連合会定例会議 午前10時～11時
16日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業) 午前10時～12時
25日(金)	小島地区連合自治会連絡会議
26日(土)	小島地区民生委員児童委員協議会定例会 午前10時30分～

【お知らせ】皆様のご参加をお待ちしています!!

「春の園芸教室」(主催講座)開催の御案内

春の花の「寄せ植え」を楽しく学びます
(※持参していただく物 軍手、エプロン)



日時 4月26日(土)

午前10時～12時

場所 小島地区ふれあいセンター

1階 図書室

講師 沖迫 司先生(フラワーおきさこ代表)

受講料 無料

定員 25名程度(先着順)

申込先 小島地区ふれあいセンター

(電話 826-7703)

申込方法 直接来所、又は、電話によるお申込み

(午前10時～午後4時30分、
月曜日を除く)

申込日 4月1日(火)～4月24日(木)

「春の歴史探訪」(主催講座)開催の御案内

若宮稲荷神社界隈を散策します

(※雨天の場合は、小島地区ふれあいセンターで、
歴史講話をいたします)

日時 5月3日(土)

午後1時45分集合～3時30分頃解散

集合場所 風頭山(かざがしら)バス停

解散場所 長崎市民会館

ガイド 山口 広助さん

受講料 無料

定員 30名程度(先着順)

申込先 小島地区ふれあいセンター

(電話 826-7703)

申込方法 直接来所、又は、電話によるお申込み

(午前10時～午後4時30分、
月曜日を除く)

申込日 4月1日(火)～5月1日(木)



○長崎代官

・長崎代官は、天正16年(1588)に秀吉により任命された鍋島飛騨守直茂が初代で、その後任に村山等安が任じられました。しかし、元和2年(1616)「元和5年(1619)説もあります」、末次平蔵政直にキリシタンと訴えられ、甲斐に流され、のち江戸で処刑されています。

その後、末次平蔵政直が代官に任じられ、以後、2代茂貞、3代茂房、4代茂朝、と続きました。しかし、延宝4年(1676)茂朝のとき国禁品の密貿易が発覚し、隠岐に流罪、家族も奄岐に流されるなど、関係者は、ことごとく処罰されました。

・末次家の断絶後、長崎代官の制度は無くなりました。

・元文4年(1739)長崎代官が再設され、御用物役 高木作右衛門忠興が代官に任じられた。

・長崎代官の屋敷は、勝山町(現・桜町小学校)に有りましたが、この地は村山等安、末次平蔵の屋敷地を引き継いだものです。

○町年寄

・町年寄は最初、頭人(とうにん)と呼ばれ、天正15年(1587)高木勘右衛門、高島了悦、後藤惣太郎、町田宗賀の4人が長崎頭人に任じられ、行政が委任されました。

・天正20年(1592)名称が町年寄と改称される。(4人制の維持)

・町田家がキリシタンを毀棄せず没落すると、代わって高木彦右衛門永貞が、さらに元禄10年(1697)高木彦右衛門貞親が唐蘭商売元締めに任じられると、外町常行司(つねぎょうじ)の薬師寺又三郎種政が同職に任じられました。(諏訪町、現・諏訪小学校)

・元禄12年(1699)内町外町の区別が廃止され、外町常行司の福田伝次兵衛重好、久松善兵衛忠辰を、新たに町年寄に任命しています。(6人制へ)

・文政5年(1822)以降、高木、高島(二家)、後藤、薬師寺、福田(二家)、久松(一家)の9人制となりました。

○乙名(おとな)

・町年寄の監督の下、実際に各町を支配したのが乙名で、その補佐役に組頭と日行使があつた。惣町乙名が77名(1町1名)、丸山・寄合の傾城町乙名が各1名の計2名。

唐人屋敷乙名4名。出島乙名が2名でした。

当時の町の様子を見ましよう。出島から旧県庁舎を見て時計回りに回ります。

○南蛮船来航の波止場跡

・元龜2年(1571)ポルトガル船と同人がチャーターしたジャンクの計2隻が初めて長崎に入港しました。長崎へはマカオを夏季に出航し2〜3週間かけて長崎に到着しています。

出港は秋から冬にかけて長崎を離れます。

天正遣欧少年使節団の出航や高山右近等の追放も、この波止場から出発しています。

○旧長崎警察署、のち旧県庁第3別館

・大正12年(1923)長崎警察署として完成しました。原爆の被害は3.3kmの距離であつたものの、被害程度は殆ど無く、昭和43年(1968)に県庁舎第3別館として使用されていましたが、平成30年(2018)3月31日に閉鎖されました。

・現在この建物は、ほぼ完全な形で残る原爆遺構として残すべきとの声がある反面、残しても市からの助成金が全く期待出来ない実情で、残すことは不要との声もあります。この場所は、旧大波止の場所であり、歴史的な背景を考えた対応が必要だと思われれます。

○国道34号線、57号線、202号線、起点・終点(道路元標)

旧県庁入口の石垣の境に、道路元標の石柱があります。

・国道34号線、鳥栖市から長崎市までの旧長崎街道に沿った国道です。

・国道57号線、大分市から竹田市、阿蘇市、熊本市、島原市、諫早市(34号線に合流)長崎市までの国道です。

・国道202号線、福岡(博多区)から唐津市・伊万里市・佐世保市・西海市・西彼杵半島經由・長崎市までの国道です。

○県庁坂(県庁表門前から大波止)

・この坂は「長崎海軍伝習所絵図」に書かれた様に、階段であつたことが分ります。その階段跡が、旧県庁第3別館横の歩道石垣に残っています。

○県庁跡の移転で交差点・バス停の名称が変更されています。

・交差点名称 県庁前交差点↓「江戸町交差点」

・バス停 県庁前↓「万才町」、県庁前↓「江戸町」、県庁裏門前↓「出島表門橋」

「百人一首」は、飛鳥時代から鎌倉時代初期、つまり天智天皇から順徳天皇までの五五〇年の間までの代表的な歌人百人の和歌を一人一首集めて作られた秀歌撰(しゅうかせん)である。

天智天皇は7世紀、順徳天皇は11世紀の天皇、これで分かるようにおよそ五世紀半の中で世の中は大きく変わっていった。大化の改新により私地私民制から公地公民制へ、国民みな平等で平和な世を築こうとした時代から、貴族(官僚)の努力により文学面で女性の活躍する時代、そして武士の台頭により貴族社会が崩れようとする時代。定家は、この崩壊していく貴族社会の中で、これからの世の中をどう生きていけばよいのか、また日本が、どのような進み方をするのか不安を感じる生活であつた。平清盛から始まり源頼朝により武士が政治の表舞台に登場し、従来の国家理念が塗り替わろうとする中で、悶々とした日々であつたであろう。

そのような時代は背景の中で嘉禎5年(一二三五)宇都宮頼積は嵯峨野に建てた小倉山荘の障子色紙に古来の歌人の歌を、一首ずつ揮毫(きごう)して欲しいとの要望を受けて頼綱に対して書き送った。この要望に対して定家は心の中で非常に喜んだであろう。古代日本の姿を後世に伝えたいのに大きなチャンスであると。

一般的に「百人一首」と言う平安時代後期から鎌倉時代の初めの歌人である藤原定家が選んだ「小倉百人一首」を言う。

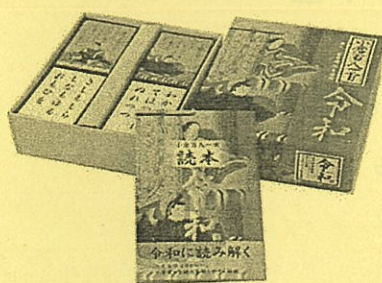
小倉百人一首は百人の歌人の一首ずつを集めた秀歌撰としての最古のものである。

ちなみに「小倉百人一首」という呼称は後世の後付けで、古くは

「小倉山荘色紙和歌」と呼ばれていた。

小倉百人一首が完成したのは嘉禎元年(一二三五)五月二十八日であり、

五月二十八日は「百人一首」の日となっています。



一番歌(天智天皇)

秋の田のかりほの庵の苫をあらみわが衣手は露にぬれつつ

〔語訳〕

秋の田の刈り取られた稲の見張り小屋で、ただひとり泊まり夜をあかしてみると屋根を葺いた苫の目が荒いので、その隙間から忍びこむ冷たい夜露が、私の着物の袖を濡らしてしまった。

〔留意点〕

作者は天智天皇とされているが、本来は万葉集に載る詠み人知らず(作者不詳)の作品「秋田刈る飯庵を作りわが居れば衣手寒く露ぞ置きにける」が基になっている。いつからか天智天皇作と伝えられるようになり選出されたのである。天皇が粗末な稲の飯小屋で一夜を過ごすことは余り考えられない。時代が下り、いつしか民を思う理想的な指導者としての天智天皇の和歌として定着したものと言われている。そうだろうか、天智天皇みづからが長い時間、粗末な庵の中で自分の手で藁を編んでいる。

このことは田植えから田の雑草取り、稲の刈り入れから、藁の天日干しなど、民と共に農作業をされていて、天皇は民と共にあるのだ。この歌を通じて定家は日本はこういう国であることを主張して、この歌を一番歌にもってきた。現在でも5月に天皇は田植えをされる。



令和7年度 学習グループ等の一覧表

曜日	学習グループ等 (※は学習グループ) (無印はその他のグループ)	学習内容	会員	学習 場所	時 間 帯	利用回数	会 費 (月額)
火	実花会	日本舞踊	9	1 研	14:00～16:00	月/1・3・4週目	3000円
	小島囲碁クラブ	囲碁	8	2 研	13:00～16:00	毎週火・木曜日	500円
	※ スマイリークラブ	健康体操	25	軽	10:00～12:00	毎週	1回600円
水	※ すみれコーラス	コーラス	11	1 研	13:30～15:00	月/2・4週目	2000円
	※ 若芽の会	俳句	6	2 研	10:00～12:00	月/2・4週目	1000円
	※ 小島卓球クラブ	卓球	8	軽	10:00～12:00	月/2・4水曜日 月/1・3日曜日	600円
	※ スマイル	社交ダンス	9	軽	14:00～16:00	毎週	1000円
	※ 空手道教室	空手道	22	軽	19:00～21:00	毎週	無
木	※ 芳布美会	民踊	7	1 研	10:00～12:00	毎週	3000円
	※ 歌謡会	カラオケ	8	1 研	13:00～15:00	月/2・3・4週目	2000円
	実花会子供日本舞踊教室	日本舞踊	5	1 研	16:00～18:00	月/1・2・4週目	2～3000円
	※ 木曜会	日本習字	6	2 研	10:00～12:00	月/1・3・4週目	無
	※ Sun 3	3 B 体操	5	軽	13:30～15:30	毎週	3000円
	※ フィーリングアートバレエ会	バレエ	20	軽	19:00～21:00	月/1・3・4週目	3500円
金	※ たのしいヨガ	ヨガ体操	17	1 研	10:00～11:30	月/1・3・4週目	2000円
	※ 聖美会	三味線(唄)	5	2 研	13:00～16:00	月/1・2・3週目	500円
	さわやか教室	軽体操	15	軽	10:00～11:00	月/2・4週目	1回300円
	※ ドラゴンボールクラブ	気功	18	軽	13:00～15:00	月/1・2・3週目	1500円
	※ ファンダンスクラブ	健康体操	17	軽	19:00～20:30	毎週	1回600円
土	※ にこにこ会	軽体操	10	1 研	10:00～11:30	月/3週目	200円
	※ シルバー・アックス	楽器演奏	11	1 研	14:30～16:30	毎週	500円
	※ 菜の花会	太極拳	7	軽	10:00～12:00	月/2・3・4週目	1000円
	※ シルクロード	太極拳	9	軽	19:00～21:00	月/1・2・3週目	1500円
日	湾長崎支部岬会	俳句	8	2 研	13:00～15:00	月/2・4週目	1000円
	※ ふれあい水彩教室	水彩画	7	2 研	13:30～16:30	月/2・4週目	1000円

学習場所 1 研→第1研修室、2 研→第2研修室、軽→軽スポーツ室

☆学習グループ等の皆様は、和気あいあいと楽しく活動されています。
良かったら見学に来られませんか。お待ちしております。